

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年9月4日 NO.36

モンタ博士「さあ、今日もいい物を持って来たから、
みんなに見せてあげよう。じゃな
かった、みんなにかがせてあげよう。」



花ちゃん「何ですか。その袋（ふくろ）の中は？」
モンタ博士「はじめから答（こたえ）を教えたのでは
おもしろくないだろう。」

オー君「そうか、鼻（はな）を使って観察するんだ。五感を使うんですね。」

モンタ博士「そうだよ。みんなのそのいい鼻を使うんだよ。」

オー君「あ！おいら、やる前から分かったぞ。それは、たぶんドクダミだぞ。」

モンタ博士「残念（ざんねん）。ドクダミの季節はもう終わりさ。はたしてこの中は
なんだろう。勇気（ゆうき）のある人は、かいでごらん。」

オー君「それじゃ、おいらから先にかぐぜ・・・お！・・・う！・・・いいにおいだ。」

花ちゃん「本当！そんなにいいにおい。ひょっとして私の大好きなバラのかおりかしら？
私もにおいをかいでみるわ。クンクン。げえっ！何これ。」

オー君「わーい。ひっかかったね。花ちゃん。いいにおいでなくて残念でした。」

花ちゃん「もう、オー君のいじわる。大きらい。」

モンタ博士「まあまあけんかをしないで。仲良くしなくちゃね。」

花ちゃん「モンタ博士がいけないんですよ。へんな植物を持って来るからですよ。」

モンタ博士「ごめん。ごめん。植物のにおいはへんでも、花はなかなかきれいだよ。」

オー君「何という名前の植物ですか。」

モンタ博士「すごいにおいだろう。こいつはへんな名前だね、ヘクソカズラというんだ。」

オー君「え！『へ』っておならの『へ』、『くそ』ってうちの『くそ』？」

モンタ博士「そうなんだよ。何だかとってもかわいそうな名前だろう。でも、植物図鑑に
もそのようにのっているんだからしょうがないよね。」



ヘクソカズラ (アカネ科) by k.morita

花ちゃん 「とても下品 (げひん) なお話ですね。モンタ博士。」

モンタ博士 「においがよくないので、『へ』と『くそ』をあわせただね。『カズラ』というの、『つる』になる植物ということなんだ。」

オー君 「だれが名前をつけたのかな。」

モンタ博士 「それは、よく分かっていないけど、においはあまり気にしないで、花をよく見てごらんよ。白い花びらみたいで、真ん中は赤くて、なかなかオシャレだよ。よく見てごらん。」

植物の名前はだれがつけたの？

日本の植物の名前は、牧野富太郎などの植物学者によって命名されたものもあるが、植物名のほとんどの起源は判明されていない。語源については、深津正さんという方が日本全国の方言名まで入れて研究されているが、起源は謎だそうだ。モンタ博士が考えるに、どうも植物名をつけたのは、大人ではなく、子供が深く関わっているのではないかと考える次第である。どうしてかということ、子供の遊びや生活などから作られた雰囲気のものがたくさんあるからである。詳細は後日。